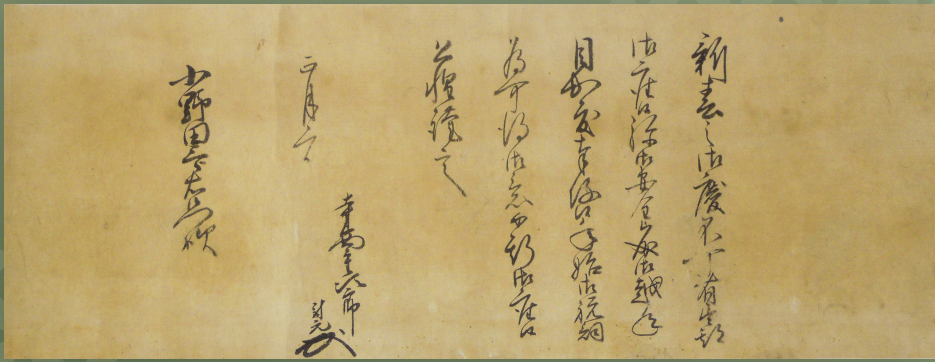


令和5年度
福島県歴史資料館
収蔵資料展

新公開史料展

入館
無料

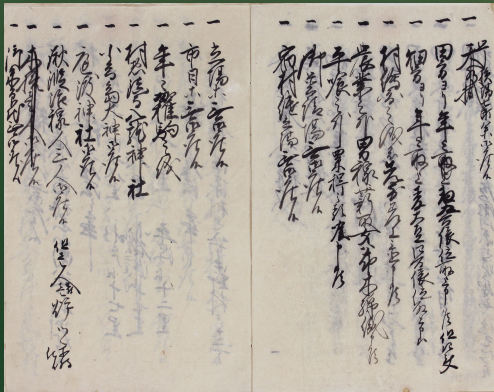


〔江戸後期〕正月2日付寺西封元書状（白石禎彦家文書（その一）7）

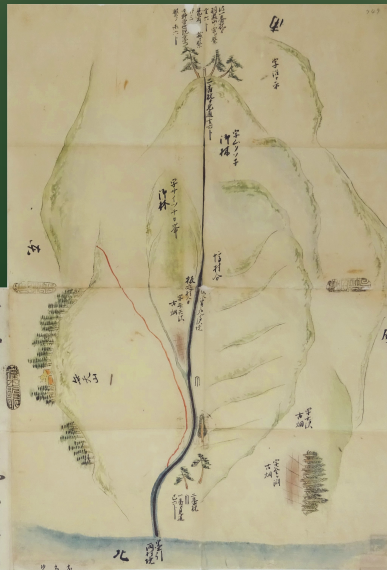
塙町・矢祭町に
ゆかりのある
史料を新公開



〔越後国名所珠数掛桜之図〕（藤井二郎家文書（その二）77）




明細村鑑帳（菊池田夫家文書（その二）129）



〔陸奥国白川郡塙村・板庭村境墨引絵図〕（秦太一郎家文書（その二）39）

令和5年
12月16日 土
12月27日 水
令和6年
1月5日 金
3月24日 日

- 〔会場〕 福島県歴史資料館展示室（とうほう・みんなの文化センター内）
- 〔開館時間〕 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 〔休館日〕 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌火曜日）
※ 会期中に1週間程度の工事休館を予定しています。
詳細は、当館ホームページやX（旧Twitter）でお知らせします。
- 〔解説会〕 12/23（土）・1/21（日）・2/17（土）・3/17（日）
各回とも午後1時30分より、50分程度担当者が解説します。
- 〔主催〕  公益財団法人 福島県文化振興財団



福島県歴史資料館
〒960-8116 福島県福島市春日町5-54

TEL：024-534-9193
FAX：024-534-9195
E-mail：history@fcp.or.jp

福島県歴史資料館

検索



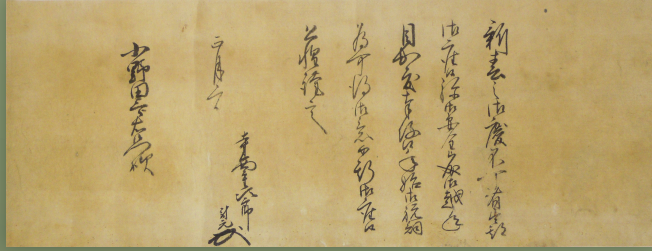
新公開史料展

『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第54集に収録され、新たに公開となった白川郡板庭村（現東白川郡塙町）ゆかりの「菊池田夫家文書（その二）」と白川郡川下村（同）ゆかりの「白石禎彦家文書（その一）」、白川郡塙村（同）ゆかりの「秦太一郎家文書（その二）」、白川郡戸塚村（現東白川郡矢祭町）ゆかりの「藤井二郎家文書（その二）」を展示し、各文書群の魅力と特徴的史料を紹介いたします。

〔寺西封元書状〕

たかもと
白石禎彦家文書（その一）7

江戸幕府の塙代官であった寺西封元より同じく代官の小野田三郎右衛門信利に出された年賀状で、寛政6年（1794）から文政10年（1827）の間のもので、両者ともに仁政を施し、地域住民から名代官として崇められました。



〔越後国名所珠数掛桜之図〕

じゆずかけ
藤井二郎家文書（その二）77

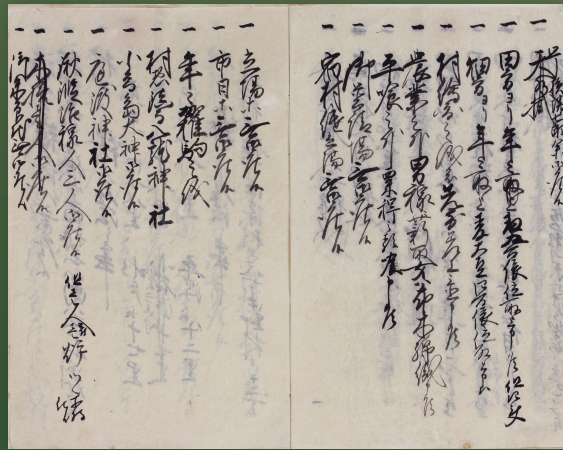
白川郡戸塚村名主を務めた藤井家に伝わる摺物です。越後国蒲原郡小島村（現新潟県阿賀野市）の珠数掛桜を描いた名所図で、嘉永2年（1849）8月2日に藤井庄次右衛門が手に入れています。庄次右衛門は旅を好むとともに、名所図などを集めていました。



明細村鑑帳

菊池田夫家文書（その二）129

白川郡板庭村戸長を務めた菊池家で保管してきた村政史料の一つで、村の概要を記した「村明細帳」です。明治初期に作成されたもので、当時の人口や寺社・堰・入会地のあり方のほか、村の耕作物や農間余業、鍛冶屋の実態などを知ることができます。



〔陸奥国白川郡塙村・板庭村境墨引絵図〕

秦太一郎家文書（その二）39

塙村と板庭村にまたがる御林（幕府直轄林）の境界を定めた絵図です。両村間で境目が不分明となっていたため、塙代官所が実地検分と古絵図調査の上、川上川（絵図下部青色）に合流するY字沢のうち西（絵図右）側支流を境界の一部としました。

